

# アラウンド・ザ・ワールド 2

## Around the World

第116回

### 医学の進歩と保険商品

アラウンド・ザ・ワールドPart2の116回目は、近年の医学の進歩がもたらした多様な新商品を取り上げる。保険会社が成功する新商品を開発するには？

(RGA再保険会社提供)

保険会社にとって、医学における技術革新は新たな可能性を生み出し、消費者を重視した保険商品の開発の方向性を示すことがある。本稿では、医学の進歩がどのように生命保険商品のイノベーションにつながり、被保険者にメリットを提供しながら、ビジネスの成長を支えるのか、その仕組みについて考察する。

#### ゲノミクス

保険会社は、給付金または保険契約者への付加価値サービスとして遺伝子検査を取り入れ始めている。例えば、南アフリカの生保会社は、がんのみを対象にした特定疾病

談することが可能となっている。個別の検査結果は保険会社と共有化されることはなく、また、既存の保険契約の保険料への影響はない。一方で、保険会社は匿名化された概要のデータを受け取ることで、被保険者集団全体の健康や行動に関する傾向に関する理解を深めることができる。

### 商品イノベーションを牽引する技術革新

傾向に関する理解を深めることができる。

#### 液体生検

米国のヘルスケア企業は、複数の生保会社と連携し、MCE D（複数がん早期発見）検査を提供している。この検査では、50種類以上のがんのシグナルを検出し、がんの発生組織や部位を特定することができる。保険契約者はがんを早期のうちに発見し、適切な治療

要件として、がんのステージⅢまたはⅣや末期血液がんの診断が必要となる。

#### 肥満治療薬

体重管理に取り組むため、GLP-1受容体作動薬による肥満治療を保障対象に取り込んでいる保険会社が世界的に増加している。米国の保険会社は、ライフスタイルに対するカウンスリング、

#### がんの治療

香港の保険会社は、がんの実損填補型保険の販

PL-1受容体作動薬を力にする特約付き災害死亡保険商品が販売されている。給付金を受け取るには、BMIが30以上、代謝異常疾患歴（高血圧、糖尿病、脂質異常症等）の少なくとも一つに診断されたことがあり、総合病院でGLP-1受容体作動薬を処方されたことが要件となる。

#### 認知症の診断

#### 遠隔モニタリング

カナダの保険会社は、ヘルステクノロジー企業と協力し、特定疾病保険の保険金請求者に遠隔モニタリングの保障を提供している。健康に関するIC Tパッケージによって重要なバイタルの測定ができ、ヘルスケアの専門家と、サーベイやテキストメッセージ、テレビ会議によって双方向的に相談をすることができ

#### AIによる健康状態に対するリスクアセスメントのツール

保険会社は、AIをベイスにしたアセスメントツールを用いて、がんの早期発見の向上や健康要因の評価を行っている。オランダのAIによる皮膚がん検出テクノロジーに特化したデジタルヘルス企業は、ヨーロッパ各国の保険会社に協力し、早期診断を目的としたモバイルアプリを提供している。この企業の臨床的に検証されたAIアルゴリズムを活用し、ほくろや皮膚の斑点をアプリにより解析し、皮膚がんのリスクを評価することにより、一般的な皮膚がんの兆候を検出することができる。同企業のデータによると、最大で95%の感受性を検出できる。

#### まとめ

上記は医学の進歩から派生し、人々の生活や保険の将来に影響を与える商品開発例の一例だ。死亡率や罹患率の改善が期待される中、医学の進歩を商品開発に的確に活用する保険会社は、競争優位を確立していくだろう。

◇

【アクセスビ氏のプロフィール】マギル大学卒業。ウォートン・ビジネススクールのエクゼクティブ・プログラム修了。コンサルティング会社をはじめとして、事業戦略、オペレーション、リスク管理、データ分析等、金融サービス業界の多様な分野で豊かな経験を有する。2020年RGA入社。現在は商品開発に重点を置き、各国支店と協力してグローバルにお客さまをサポートしている。

#### ハムザ・シャイバン

#### 山本あゆみ

RGAリインシュアランスカンパニー日本支店 通訳  
エグゼクティブ・ディレクター  
ヘッド・オブ・プロダクト&ビジネス・ディベロップメント

#### 中嶋 清崇



アクセスビ氏



中嶋氏

#### 執筆者

#### オスマン・アクセスビ

RGA インターナショナル・コーポレーション  
グローバル・プロダクト・イニシアティブ  
ヴァイス・プレジデント

#### 日本語監修

#### 日本語訳